

ダム工学会特別功績賞に田中忠次氏 功績賞に齊藤政満氏

一般社団法人ダム工学会の平成30年度特別功績賞に田中忠次氏、功績賞に齊藤政満氏が選定され、5月16日星陵会館で行われた表彰式で田代民治ダム工学会長（鹿島建設株式会社代表取締役副社長）から賞状が授与された。

田中忠次氏（一般社団法人地域環境資源センター理事長）は、ダム等の土構造物の有限要素法に関する研究の第一人者として、土の変形・強度特性を踏まえた数値モデルによる解析を試み、土の構成関係の力学モデルを提案するとともに、さらに有限要素解析と結合させるなど、フレキシブルで効率的な解析方法を提案し、ダム技術の進展に多大な貢献を果たしたこと、また、土地改良事業計画基準・設計「ダム」の改訂に当たり、フィルダム小委員会の委員長に就任し、新技術を取り込みつつ同基準の改定に大きな功績を果たしたこと、また、国営造成農業用ダムの計画・設計・施工に関して、北海道開発局、東北農政局、関東農政局、北陸農政局の各管内の多数のダムに対する助言・指導を行ってきており、ダム事業の発展に著しい貢献をなしたことなどが受賞理由とされた。



田代会長から特別功績賞を授与される田中忠次氏

なお、ダム工学会においては、平成21年度から23年度まで副会長を、平成24年度には会長努めるなど、学会の興隆にも著しい貢献をなしている。

齊藤政満氏（一般社団法人土地改良建設協会専務理事）は、会津農業水利事務所の調査設計課長として、日中ダムの河床部浸透流の増大が貯水位の上昇による温泉源への圧力伝達の影響を受けていることを確認した上で、追加グラウチングなどによる対策工を実施し、堤高、堤体積ともに最大級のフィルダム完成に大きな役割を

果たしたこと、また、農村振興局設計課長、整備部長として、農業用ダムの機能診断手法、耐震性能照査手法の確立に向けて各種マニュアルを整備するとともに、レベル2地震動に対する耐震性能照査を推進するなど、農業用ダムの安全性評価の枠組みを構築したこと、また、一般社団法人土地改良建設協会の専務理事に就任後は、平成30年10月に「土地改良ダム総覧」を発刊し、今後の農業用ダムの更新整備、安全性評価に必要な不可欠な技術情報の整理、蓄積に大きく貢献したことなどが受賞理由とされた。



功績賞を授与される齊藤政満氏